

貯水桶の権利化支援

松山アドバイザーによる支援

開発した技術の権利化について大阪府立特許情報センターに電話を頂き、訪問指導を開始

特許電子図書館を利用した 先行技術調査のサポート

- 公報テキスト検索を利用したキーワード検索
- 特許分類(FI・Fターム)を用いた検索の指導

実用新案登録出願に向けた サポート

- 先行技術文献の活用支援
- 自社による出願の支援

株式会社ウッドワーク

伝統の醸造用木桶製作だけでは、需要の衰退により会社の将来に不安を抱いた
木桶作りで養った技術で雨水を貯める農業用の貯水タンクの開発に取り組み、間伐材を利用することで、安価に製造できる技術を開発

できるだけ費用をかけずに権利化を図りたい！

特許情報活用による成果

先行技術調査から出願まで
自社により
実用新案登録第3137040号

木桶作りは、山で木を育てることから始まる
間伐材と雨水を有効利用する新たな木桶システムの開発は、景観と環境保全に貢献する技術である



この支援によって開発・販売された商品

商品名「貯水桶」

間伐材を利用した板で桶を組み上げ、機密性を保つために内部に防水袋を備える。現場で組み立てるので、山間地での設置も可能です。

雨水を貯めて、洗浄や灌漑用水として利用することで環境にも優しい商品です。

支援先企業の概要

- 会社名 株式会社ウッドワーク
- 住所 大阪府堺市西区
- 資本金 1,060万円

- 代表取締役 藤井 泰三
- 設立 1983年

松山彰雄(大阪府立特許情報センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

この製品は、先行技術と比較して、どこに、どのような新規性・進歩性があるのかを見極め、新規性・進歩性を明確に表現した明細書を書いて頂けるように支援しました。

その過程で、製造コスト以外に断熱性や耐久性にも優れていることが判明しました。

自力での出願を希望されたので、特許文書特有の表現を理解して頂くのに苦労しましたが、先行技術の公報を見本に、努力して自力で明細書等を最後まで書き上げられ権利化されました。



平成21年2月現在